

矯正歯科治療のリスク・副作用など注意事項について 【必ずご一読ください。】

以下の内容に関しご承諾頂くことが矯正歯科治療を開始できる条件となります。

1. はじめに

矯正歯科治療（以下矯正治療）のリスクや副作用の記載が、厚生労働省医療広告ガイドライン（2018年）により義務づけられました。

矯正治療はもちろん【医療】です。

歯科医師と患者の皆様の長期間にわたる協力・努力が必要です。

治療内容や限界をご理解頂いた上、歯科医師と患者さんとで治療途中にある目標を1つ1つクリアし、予め診断時に設定した治療の目的（治療成果）に可能な限り到達することを目指します。

つまり矯正治療は、患者さん自身も日々ルーティンワークをこなさないといけない（日中や夜間にこまめに取り外し装置を装着するなど）治療です。

さらに矯正治療には様々なリスク・副作用も伴います。

下記内容をご理解・ご承諾いただいた上で当院での矯正治療をご検討ください。

2. 矯正歯科治療におけるリスク・副作用など注意事項

様々なリスク・副作用は基本的に治療開始前の段階では分からない内容です。何卒ご理解ください。

0). 矯正歯科治療には限界があります。

治療による改善が可能な点と、改善が望めない点については治療前にご相談ください。また治療中に治療の限界が出てくることもあります。予めご承諾ください。

1). 【日常のトラブルと矯正治療】

治療中、矯正器具が外れたりワイヤーが折れたりすることがあります。（食事時やコンタクトスポーツでの顔面接触時など）。その場合可及的速やかに応急処置を致します。

2). 【むし歯・歯周病と矯正治療】

矯正器具が歯に装着されることにより、むし歯や歯周病のリスクが高くなります。従って適正なブラッシングとその継続が必要です。

（虫歯・歯周病を回避するため、定期健診・歯磨き指導が必要です。）

3). 【痛みと矯正治療】

矯正力や器具により不快感・痛みなどを感じます。

(主に新たな装置の装着時や毎回調整時から数日間)

4). 【歯根・歯茎と矯正治療】

矯正治療中歯根が短くなったり（歯根吸収）、歯茎下がり（歯肉退縮）やそれによる歯と歯の間に3角形の隙間（ブラックトライアングル）が生じることがあります。原因として、遺伝的要因・歯ブラシの不適切な使用・治療前の歯の周りの骨（歯槽骨）の状態・治療の長期化などが考えられます

5). 【動かない歯と矯正治療】

歯（歯根）が元々周りの骨（歯槽骨）にくっついている（骨性癒着といいます）と、歯が動かない場合があります。その場合、大幅な治療内容の変更となることもあります。

6). 【歯の神経（歯髄）と矯正治療】

歯の状態によっては歯髄が失活する場合があります。（治療前には分かりません。）
(例：出っ歯の前歯・以前治療処置していた歯・もともと神経が弱っている歯など)

7). 【治療済みの歯・形態異常の歯と矯正治療】

矯正治療中・治療後に、詰め物や被せ物（補綴物といいます）の再作製、歯の形態修正などが必要な場合もあります。

8). 【アゴの関節（顎関節）と矯正治療】（治療前に分からないこともあります。）

治療前に症状がなくても矯正治療中に顎関節症状が突然出る場合があります。

9). 【アゴの成長と矯正治療】

成長期の患者さんの治療では、治療途中で治療方針の変更が必要になる場合があります。
(予想より顎の骨が成長した場合・予想より顎が成長しない場合 など)

10). 【治療期間と矯正治療】

歯の動き方には個人差があります。歯の動きが遅い場合、治療期間が大幅に延長することがあります。

11). 【治療計画と矯正治療】

患者さんのアゴの成長・協力度・装置の使用状況など様々な理由から治療計画を変更する場合があります。

12). 【患者さんの日常の取り組みと矯正治療】

定期的なご来院、装置の使用状況など患者さん自身の矯正治療に対する日常の取り組み（ルーティンワーク）が重要です。これを怠ると治療成果や治療期間ならびにリスク因子に多大な影響を及ぼします。

13). 【レントゲン撮影と矯正治療】

診断および矯正治療計画のためレントゲン撮影を行います。レントゲン撮影には被爆の問題があります。（安全面に配慮したレントゲン装置を使用しております。）

14). 【装置・人工歯と矯正治療】

装置を撤去する際に、歯の表面（エナメル質）に傷がつく場合があります。また被せ物が脱離することもあります。

15). 【保定装置と矯正治療】

矯正治療終了後、保定装置（リテーナー）を使用しないと後戻りすることがあります。リテーナーの適正な装着や定期的なメンテナンスを怠ると歯並びやかみ合わせが再度悪化することがあります。

（顎の成長や加齢変化によって矯正治療後にも歯並び・かみあわせは変化します。）

（注）リテーナー：歯並び・かみ合わせを安定させるため装置

16). 【矯正治療後】

何らかの理由により、矯正治療後に再治療が必要となる可能性があります。

（例：リテーナーを使用しない。親知らずによる歯の動き など）

その他重要事項

17) 【アレルギーと矯正治療】

金属アレルギー・ラテックスアレルギーなどがある方は必ず初診時にご相談ください。かかりつけの専門医に安全であることをご判断頂き、矯正治療ができるか否か検討することとなります。